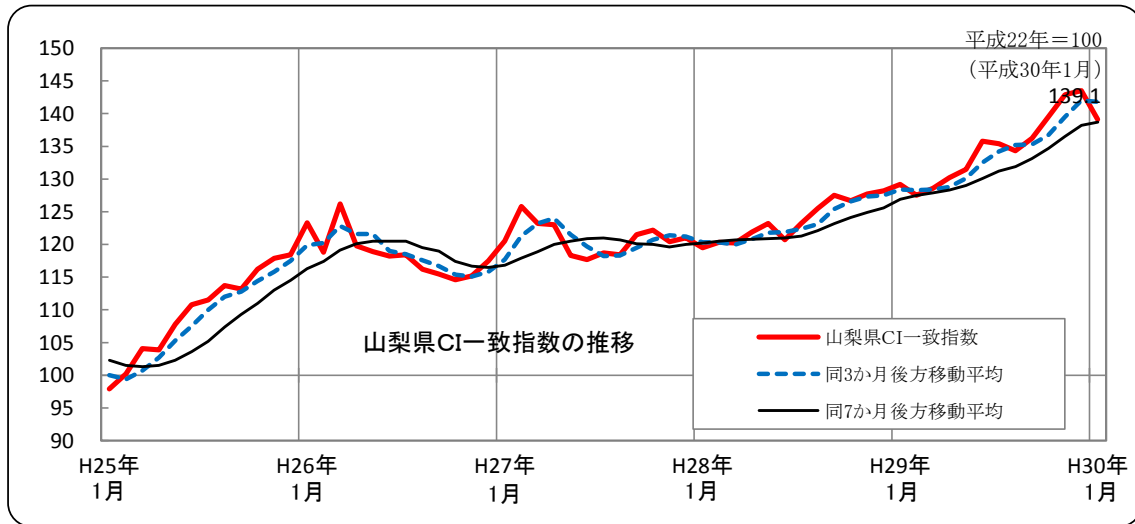


- CI一致指数(H22=100)は、139.1となり、前月と比較して4.4ポイント下降(5か月ぶり)  
→採用系列ごとの寄与度では、鉱工業生産指数(鉱工業)が△2.09と最も大きく下降に寄与
- CI先行指数は142.4となり、前月と比較して6.4ポイントの下降(8か月ぶり)  
→採用系列ごとの寄与度では、鉱工業生産指数(生産材)が△4.28と最も大きく下降に寄与
- CI遅行指数は178.9となり、前月と比較して2.8ポイントの下降(2か月ぶり)  
→採用系列ごとの寄与度では、法人事業税(調定額)が△2.84と最も大きく下降に寄与

山梨県CI一致指数採用系列の寄与度		平成30年 1月
山梨県CI一致指数		139.1
	前月差(ポイント)	△ 4.4
1 鉱工業生産指数 (鉱工業)	前月比伸び率(%)	△ 5.5
	寄与度	△ 2.09
2 百貨店・スーパー販売額	前月差	0.5
	寄与度	0.14
3 所定外労働時間指数 (製造業30人以上)	前月比伸び率(%)	△ 5.6
	寄与度	△ 1.66
4 有効求人倍率 (新規学卒を除く全数)	前月差	0.01
	寄与度	△ 0.15
5 県立美術館・富士山世界遺産センター(北館)来館者数	前月比伸び率(%)	△ 6.2
	寄与度	△ 0.69

「△」は負数。

寄与度は山梨県CIの前月からの変化(前月差)が、各採用系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。



山梨県CI一致指数 時系列表

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2016	H28	119.5	120.3	120.2	121.9	123.2	120.7	123.2	125.5	127.5	126.7	127.7	128.2
2017	H29	129.2	127.5	128.6	130.2	131.5	135.8	135.4	134.3	136.2	139.5	142.9	143.5
2018	H30	139.1											

<参考> 山梨県DI

- 景気の現状を示す一致指数は、80.0%となり、20か月連続で50%を上回った。
- 景気の先行きを示す先行指数は、75.0%となり、8か月連続で50%を上回った。
- 景気に遅れて動きを示す遅行指数は、20.0%となり、13か月ぶりに50%を下回った。